

化学療法未治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(非扁平上皮癌)
オブジーボ+ヤーボイ+アリムタ+カルボプラチン併用療法 患者プロトコール

| 投与プロトコール 1コース:42日間 コース数:1回 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》 | | 投与量 | 投与日 | 投与時間 | 備考 | |
|--|---|-----|----------------|------|----|--|
| ルートKeep | 生食 500mL | — | Day1,22 | — | | |
| ① | オブジーボ: 360mg/body 生食 100mL | mg | Day1,22 | 30分 | | |
| オブジーボ投与終了後30分以上経過してヤーボイの投与を開始する | | | | | | |
| ② | ヤーボイ: 1mg/kg 生食20mL 最終濃度1~4mg/mLとなるように調製 | mg | Day1 | 30分 | | |
| プレメディ(注射) | NK1-R拮抗剤+5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL | | Day1,22 | 30分 | | |
| ③ | アリムタ: 500mg/m² 生食 100mL | mg | Day1,22 | 10分 | | |
| ④ | カルボプラチン:AUC(5) 5%ブドウ糖液 250mL | mg | Day1,22 | 60分 | | |
| <p>◆オブジーボ投与時の総液量は、体重30kg以上の患者では総液量を150mL以下とする。 ※体重30kg未満の患者では、総液量を100mL以下とするため、生食50mL(100mLボトル)に希釈する。 ◆ヤーボイは最終濃度1~4mg/mLとなるように調製する。体重25kg未満の患者の場合は、生食量に注意が必要。 ◆アリムタ初回投与7日以上前から1日1回パンビタン1gを連日経口投与。(アリムタ中止3週間後まで) ◆アリムタ初回投与7日以上前に、フレスミンS(1mg/1A)筋肉内投与。以後9週間毎投与。(アリムタ中止3週間後まで) ◆カルボプラチン投与量 = AUC(5) × (Ccr+25) Ccr算出: Jelliffe式</p> | | | | | | |

佐賀大学医学部附属病院